

令和5年度2学期 学校評価 自己評価書

1 学校の重点目標

- 主体的な課題解決活動の充実を目指した、授業の展開と学力向上
- 生徒指導的諸問題への早期対応、組織的対応
- 道徳、人権教育を推進し、人間関係構築力育成や不登校(傾向)新出防止
- 教育相談や特別活動等を充実し、生徒自身の選択による進路実現
- 学級活動や生徒会活動等を通じた主体的な生徒の育成

2 課題と改善策

	評価項目	職員	評価結果と改善方策
重点項目	1 自他の生命を尊重する生徒の育成	3.7	・生命尊重に関する道徳の授業を実施した。
	2 基礎・基本の定着、個性を伸ばそうとする生徒の育成	3.5	・学習のしつけ、課題の工夫などに努める。
	3 健康増進に努め、最後までやり遂げようとする生徒の育成	3.5	・体育大会に向けて生徒が自主的に練習に励むことができた。
	4 特色ある教育活動による、心豊かな生徒の育成	3.3	・職場体験学習の代替として職業講話を実施した。
	5 授業を通じた研修の充実、指導力の向上	3.5	・初任校研修を中心に学習指導法の改善に努めた。
生徒指導	1 基本的生活習慣の徹底	3.4	・校外外でのあいさつの励行、礼儀面の指導に努めた。
	2 問題行動等の早期発見と対応、非行の未然防止	3.3	・長欠生徒への対応やいじめなどの問題解決に努める。
	3 全職員一体の指導態勢の確立、心に届く生徒指導	3.3	・生徒指導委員会を中心に各学年で連携した指導ができた。
	4 教育相談活動の重視、生徒との心のふれ合い	3.7	・相談週間を通して関係作り。SCの活用等を活性化した。
	5 いじめ問題や不登校に対する人間関係づくり	3.5	・個別の支援計画の見直しと活用に努める。
学力向上	1 学習意欲や態度の向上を促す授業の充実	3.3	・学習課題の工夫・改善を図る。
	2 個性の伸長、基礎・基本の定着を図る授業	3.3	・鹿児島学習定着度調査に向けて各教科で取り組んだ。
	3 問題解決的な学習、体験的学習の指導法	3.3	・主体的・対話的で深い学びの授業設計を心がけた。
	4 総合的な学習の時間の指導法	3.4	・文化祭での発表・展示に向けて、学年を中心に行った。
	5 少人数指導による指導法の工夫	3.2	・数学3年で実施している。受験に向けた学力向上。
心の教育	1 道徳の時間の工夫・充実、道徳的実践力	3.5	・各学年で担任・副担任が連携しながら授業に取り組んでいた。
	2 心豊かな生徒の育成	3.3	・学校行事の運営を生徒主体に行い、自己肯定感を高めるなどの取組を勧めた。
	3 読書指導の充実、読書習慣の定着	3.3	・図書館だよりや掲示物、選書会などを通して啓発を行った。
	4 人権教育に対する研修の推進	3.4	・職員研修での共通理解を図った。
	5 人権尊重の精神・生命尊重の精神の育成	3.6	・行事での活動における事前指導の充実を図った。
	6 特別支援教育への理解(合理的配慮)	3.4	・多くの職員が関わり共通理解を行うことで、理解を深めた。
体力向上	1 健康づくり、気力・体力づくりの推進・充実	3.1	・授業やスポーツテストの結果をもとに体力向上に努めた。
	2 定期的な安全点検を実施し、事故防止	3.4	・点検→確認→補修等の連携が流れてきた。
	3 部活動に充実、楽しい体力づくり、規律ある態度	3.6	・部活動における安全面の注意喚起を行っている。
	4 給食マナー指導、歯磨き指導	3.7	・栄養教諭を中心とした給食指導の充実を図っている。
教育環境	1 清潔で落ち着いたきれいな学校	3.0	・清掃作業の指導と見届けに取り組んだが、無言作業への意識の高揚が課題となる。
	2 校舎内外の整理整頓	3.3	・各責任者を中心に適切な環境が保たれていた。
	3 社会参加活動やボランティア活動	3.1	・地域行事への参加を行い、地域住民からも喜んでもらった。
	4 校内掲示教育の活性化	3.3	・係が積極的に掲示に工夫を加えている。

3 3学期に向けての取組

- 基礎学力の定着及び学力向上、困り感をもつ生徒への個別対応に取り組む。
- 保健室登校・不登校傾向生徒の状況把握、及び心のパートナーやSC等の外部機関と連携した対策に取り組む。
- 感染症予防に留意した健康・安全指導を徹底する。
- ICT教育における職員研修の充実を図る。